

インテック、ローカル 5G などマルチワイヤレス技術を活用した 「ワイヤレス DX」ソリューションを展開開始 ～実証環境を整備し、8つの産業別ソリューションを提供～

TIS インテックグループの株式会社インテック（本社：富山県富山市、代表取締役社長：北岡隆之、以下インテック）は、「ローカル 5G※1」に代表されるマルチワイヤレス技術を活用した「ワイヤレス DX」ソリューションを 2021 年 11 月より順次展開することを発表します。

「ワイヤレス DX」とは、インテックの広域仮想ネットワークからマルチワイヤレス技術を用いて、ケーブルや端末、空間や場所などに制約のない環境を創出し、お客様の課題解決を支援するインテックの新しいソリューションの総称です。「ローカル 5G」「sXGP(プライベート LTE) ※2」「Wi-Fi6(802.11ax) ※3」「LPWA※4」などのマルチワイヤレス技術を活用し、行政や医療、製造など 8 つの産業分野をターゲットにソリューションを展開していきます。

また、10 月から順次「ローカル 5G」などのマルチワイヤレス技術を使用、比較できる実証環境を富山県と神奈川県の実証環境内に整備していきます。

※1 ローカル 5G：企業や自治体が 5G によるプライベートネットワークを構築して利用できる通信環境。無線通信回線として利用可能で、運用するには無線局の免許を取得する必要がある。

※2 sXGP (shared eXtended Global Platform)：自営 PHS の後継として規格された LTE ベースの免許不要なプライベート通信システム。1.9GHz 帯の周波数帯を利用し、SIM 認証を採用している。

※3 Wi-Fi6(802.11ax)：第 6 世代の Wi-Fi 規格。2.4GHz 帯&5GHz 帯の周波数帯を利用し、最大伝送速度 9.6Gbps とこれまでの Wi-Fi よりも高速であり、省電力、安定性の向上が図られている。

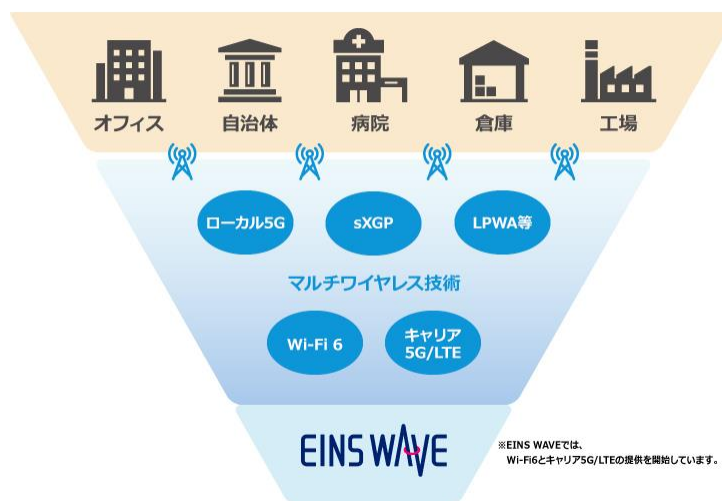
※4 LPWA(Low Power Wide Area)：少ない電力で長距離かつ広範囲の通信を可能とする技術の総称。

■背景

5G の商用サービスが始まり、超高速・大容量の通信が可能になったことで、業界を問わずさまざまな分野でワイヤレス技術を活用したソリューションのニーズが急速に高まっています。

インテックは 1985 年に国内で初めて登録された特別第二種電気通信事業者※5 として、多くのお客様に広域仮想ネットワークなどを提供してきました。今回、急速な社会の変化、ワイヤレス技術の進展のもと、お客様の現場で発生するさまざまな課題解決のため、インテックが長年にわたって培ってきた得意領域とマルチワイヤレス技術を活用し、「ワイヤレス DX」ソリューションを展開することにしました。

<「ワイヤレスDX」ソリューションの構成>



※5 通信事業者のうち、電気通信事業法によって定められた一定の規模を超えて不特定多数のユーザーに通信サービスを提供するもの。インテックは 1985 年に国内で初めて許可され、通信自由化のきっかけをつくった。

■インテックが提供するワイヤレス DX ソリューション

「ローカル 5G」が持つ大容量・同時多数接続・低遅延といった特長だけでなく、「sXGP」や「Wi-Fi6」など、それぞれの特長を活かしたワイヤレス技術を活用し、8つの産業分野をターゲットに新しいDXの価値を提供する「ワイヤレスDX」ソリューションを展開していきます。



< 提供開始計画 >

- ① デジタル・ワークプレイス・ソリューション (2021 年度 11 月)
- ② ダイバーシティ&インクルージョン・ソリューション (2021 年度 4Q)
- ③ ゼロコンタクト・オペレーション・ソリューション (2021 年度 4Q)
- ④ 自治体向け IoTプラットフォームサービス (2021 年度 4Q)
- ⑤ スマートファクトリー見える化ソリューション (2022 年度以降)
- ⑥ 物流現場画像認識・検品支援ソリューション (2022 年度以降)
- ⑦ 病院向けアラートソリューション (2022 年度以降)
- ⑧ O2i(Object-oriented to user Interface)ソリューション (2021 年度 4Q)

■マルチワイヤレス技術の実証環境

インテックは、新しいワイヤレス技術の獲得とソリューションの検証を行うため、富山県と神奈川県の実証環境を整備してまいります。

実証環境では、さまざまなDXソリューションやネットワークサービスの検証・開発、AIやエッジコンピューティングなど先端技術の研究開発を行います。

sXGPは、自社データセンターにコア網配置し、拠点基地局と分離する構成で整備しています。Wi-Fi6と共に遠隔体験用デバイスや画像配信による実証を実施しています。

ローカル5Gは、最新のSub6/SA方式の基地局を高岡市の事業所へ2022年2月には設置予定です。

<マルチワイヤレス技術の特長>

	ローカル 5G	sXGP (フライング LTE)	Wi-Fi6 (802.11ax)
免許	必要 (自己建物土地)	不要	不要
特長	エリア指定、大容量伝送、同時多数接続、低遅延	免許不要、安定したセキュアな通信	高速、省エネ、安定性向上
活用例	地域や特定エリア内での高精細動画伝送、遠隔制御	構内 PHS の後継として、病院内や製造現場で活用	スマート家電など、家庭内の IoT デバイスとして活用
実証開始 (予定)	2022 年 2 月	2021 年 10 月	2021 年 10 月

■今後の展開

インテックは、8つの産業分野における「ワイヤレス DX」ソリューションを始め、TIS インテックグループのプラットフォームサービス「EINS WAVE」においてもワイヤレスサービスの拡充を目指していきます。実証環境においてはインテックのソリューション検証に留まらず、お客様やパートナー企業、地域団体と技術開発や製品検証等の共創ラボとしての役割も担っていきます。また、「ワイヤレス DX」ソリューションの展開において多くのパートナー企業を募ることで「ワイヤレス DX」の浸透・拡大を図っていきます。

■「ワイヤレス DX」に関するお問い合わせ

https://www.intec.co.jp/inquiry_form/?id=press002

※ 記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

※ 記載されている情報は、発表日現在のものです。最新の情報とは異なる場合がありますのでご了承ください。

インテックについて (<https://www.intec.co.jp/>)

お客様の経営戦略に沿った情報化戦略の立案からシステムの企画、開発、アウトソーシング、サービス提供、運用保守まで、IT 分野において幅広く事業を展開しています。インテックは、1964年の創業以来培ってきた技術力をもとに、AI、RPA 等のデジタル技術の活用や、新たな市場の創造にも積極的に挑戦しています。常にオープンな姿勢で、人、企業、社会を技術でつなぎ、自らも変革しながら「豊かなデジタル社会の一翼を担う」企業としてお客様に新しい価値を提供してまいります。

TIS インテックグループについて

TIS インテックグループはグループ社員約 2 万人が一体となって、強みを活かし、国内および海外の金融・製造・サービス・公共など多くのお客様のビジネスを支える IT サービスを提供しています。デジタル技術を駆使したムーバーとして、未来の景色に鮮やかな彩りをつけていきます。

【本件に関するお問い合わせ先】

◆報道関係からのお問い合わせ先

株式会社インテック テクノロジー&マーケティング本部 広報室 小川、長谷、稲垣

E-Mail : press@intec.co.jp

◆本サービスに関するお問い合わせ先

株式会社インテック テクノロジー&マーケティング本部 新事業開発部 担当：澤田、安吉

E-Mail : wdx_info@intec.co.jp